

分野別施策の取り組み

1 女性の人権

現状と課題
 ●性別による役割分担意識の存在
 ●DV、セクシュアル・ハラスメント など

取り組みの方向性
 ●男女間の格差解消に向けた教育・啓発
 ●女性への暴力を見逃さない地域づくり
 ●安心して相談できる環境整備 など

2 子どもの人権

現状と課題
 ●児童虐待、いじめ
 ●子どもの貧困 など

取り組みの方向性
 ●子どもの人権が尊重される教育・啓発
 ●子どもに関わる相談事業の充実及び関係機関の連携強化
 ●地域の子どもの守る活動支援 など

3 高齢者の人権

現状と課題
 ●高齢者への虐待
 ●高齢者への詐欺や悪質商法被害 など

取り組みの方向性
 ●高齢者の人権が尊重される教育・啓発
 ●高齢者が自立して生活できる環境づくり
 ●高齢者への相談・支援 など

4 障がいのある人の人権

現状と課題
 ●障がいのある人への配慮の不足
 ●障がいのある人の高齢化
 ●発達に課題のある子どもの顕在化 など

取り組みの方向性
 ●障がいのある人の人権が尊重される教育・啓発による「心のバリアフリー」の推進
 ●地域で生活しやすい環境づくり
 ●障がいのある人への相談・支援 など

5 同和問題(部落差別)

現状と課題
 ●正しい知識と理解の不足
 ●結婚や就職の際の心理的差別の存在 など

取り組みの方向性
 ●正しい知識と理解を深めるための教育・啓発
 ●周辺住民との交流促進 など

6 外国人の人権

現状と課題
 ●外国人材の受け入れ拡大
 ●文化や言語の違いによるトラブル
 ●相互理解及び交流の促進など

取り組みの方向性
 ●多様な文化への理解・尊重のための教育・啓発
 ●外国人市民への情報提供・相談・支援 など

7 刑を終えて出所した人の人権(再犯防止推進計画)

現状と課題
 ●刑を終えて出所した人への偏見
 ●検挙人員に占める再犯者割合の増加 など

取り組みの方向性
 ●犯罪や非行をした人の就労・修学支援
 ●保健・福祉サービスの提供支援
 ●関心を深めるための啓発活動 など

8 性的マイノリティの人権

現状と課題
 ●正しい知識と理解の不足
 ●周囲からの偏見や差別、生活の不便さ など

取り組みの方向性
 ●アウトティング(第三者への暴露)の防止等を含めた正しい知識と理解を深めるための啓発活動 など
 ●生活の不便さを解消するための取り組み など

9 その他の人権問題

現状と課題
 ●HIV感染者、ハンセン病患者への偏見や差別
 ●犯罪被害者等に対する人権問題
 ●インターネット利用にともなう人権問題
 ●ホームレスへの嫌がらせや暴力

取り組みの方向性
 ●正しい知識と理解を深めるための教育・啓発
 ●犯罪被害者等及びホームレスに対する支援 など

第2次浜松市人権施策推進計画

令和2年度
 ▼
 令和6年度

計画策定にあたって

人権は、「誰もが幸せに生きていく権利」「自分が自分らしく生きる権利」で、身近で大切なものです。

これは、「お互いの個性を尊重し」「違いを認め合う」、誰もが持っている「思いやりの心」「相手の気持ちを考えること」によって守られています。

しかし、いじめや虐待、ハラスメントなどで「幸せに生きていく権利」が奪われたり、偏見や差別を受けて「自分らしく生きる権利」が奪われたりしています。

私たちの周囲には、まだまだ様々な人権問題が存在しています。

この計画は、浜松市に暮らすすべての市民の方が、様々な人権について知り考え、そして行動し「思いやりあふれる社会」となることを願い策定しました。



第2次浜松市人権施策推進計画で目指すもの

政策目標 思いやりあふれる社会の実現

すべての人が、「幸せに生きていく」ことができ、「自分らしく生きていく」ことができるために、「思いやりあふれる社会の実現」を目指した取り組みを推進します。

平成30年実施の人権に関する意識調査結果より

質問	回答
問1. 人権は重要なことだと思いますか?	94.4%
問2. 自分以外の人の人権を尊重できていますか?	68.8%
問3. 人権尊重の意識が、生活の中に定着していますか?	30.2%

この結果から、「人権尊重意識の定着に向けた取り組みが大切」と考えます。そこで、「人権尊重意識が定着した社会とは」と想像した時に、それは「思いやりあふれる社会」になっていることだと考えられます。

基本姿勢 人権尊重意識の定着 ～気づき育み人権を身近に～

「人権への気づきにつながるような事業」や「正しい知識と理解を深められるような事業」の推進に取り組みます。

人権尊重の意識の定着のためには、まわりの人への思いやりの気持ちを持つことが大切です。また、毎日の生活のなかに入権に結びつくことが多くあることに気づくことも大切です。

こうした「気づき」によって蒔かれた人権の種は、「正しい知識と理解」という栄養によって大きく育ちます。

浜松市 健康福祉部 福祉総務課人権啓発センター

〒430-0916 浜松市中区早馬町2番地の1 TEL.053-457-2031 FAX.053-450-7702

URL <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>

浜松市人権施策推進計画 検索 令和●年●月発行

重点的な取り組みの方向性

体系図

政策目標

基本姿勢

思いやりあふれる社会の実現

人権尊重意識の定着く気づき育み人権を身近に

施策の方向性・取り組み

重点的な取り組みの方向性

- 1 幼児期からの家庭・幼児教育の場における人権教育
- 2 学校における人権教育
- 3 地域社会への啓発
- 4 企業における人権啓発
- 5 人権にかかわりの深い職業に従事する人に対する研修等
- 6 人権を身近に感じる啓発活動
- 7 相談・支援の推進

分野別施策の取り組み

- 1 女性の人権
- 2 子どもの人権
- 3 高齢者の人権
- 4 障がいのある人の人権
- 5 同和問題（部落差別）
- 6 外国人の人権
- 7 刑を終えて出所した人の人権（再犯防止推進計画）
- 8 性的マイノリティの人権
- 9 その他の人権問題

1 幼児期からの家庭・幼児教育の場における人権教育

方向性
 将来の人格形成に向けて重要な幼児期に
 ●人権への気づきと芽生えとなるような教育
 ●保護者への学習機会を提供

主な取り組み
 ●幼・小・中学校の保護者対象の人権講座
 ●人権啓発絵本の作成
 ●世代間交流事業

2 学校における人権教育

方向性
 発達段階に応じて人権尊重の意識を高め、正しい知識を理解していくために
 ●学校での人権教育の充実
 ●教職員への研修

主な取り組み
 ●人権教育の推進
 ●人権教室の実施
 ●教職員対象の研修

3 地域社会への啓発

方向性
 地域全体が思いやりあふれる社会となるように
 ●人権に気づく機会の提供
 ●正しい知識と理解を深める啓発活動

主な取り組み
 ●市民向けの講座
 ●人権講演会
 ●子どもの見守り活動

4 企業における人権啓発

方向性
 企業の社会的責任（CSR）が重要視され、企業にも人権に関する正しい知識と理解を深めることが求められているので
 ●企業における啓発活動及び支援

主な取り組み
 ●企業向け人権講座
 ●企業の社会貢献活動相談支援

5 人権にかかわりの深い職業に従事する人に対する研修等

方向性
 人権教育・啓発の推進には、教職員、市職員が正しい知識と理解を深めることが重要
 ●研修会、講座等の実施
 ●人権尊重意識の高い人材育成

主な取り組み
 ●人権だよりの発行
 ●教職員対象の研修
 ●市職員対象の研修
 ●市町人権教育連絡協議会

6 人権を身近に感じる啓発活動

方向性
 人権を身近に感じ、人権への気づきの場面を提供するために
 ●気軽に参加できるイベント、講演会
 ●多くの市民が参加するイベントでの啓発活動

主な取り組み
 ●コンサートなどの誰もが気軽に参加できる人権啓発イベントの開催
 ●多言語による情報提供
 ●人権啓発活動地域ネットワーク事業

7 相談・支援の推進

方向性
 人権擁護委員、法務局等とともに
 ●人権に関する悩みの相談
 ●人権の分野に応じた相談・支援
 ●相談機関の周知

主な取り組み
 ●地域包括ケアシステム体制の構築
 ●安心して相談できる相談体制の推進
 ●ICTを活用した相談事業や情報の提供

